

# ちよっこしい話

木島病院報

## 令和6年能登半島地震からの 復旧支援応援

Vol. 111

令和6年1月発行  
発行：木島病院新聞委員会



院長 竹内 尚人

元旦午後4時10分、能登半島地震で亡くなられた方々に心から哀悼の意を表し、関係者の方々にお見舞い申し上げます。

私たちの病院では以前より緊急時避難所として準備してきましたが、浅野川の氾濫を想定してのものでした。地震直後から強く不安を感じた人々が避

難されてこれ、50名近くの方に半日避難場所として利用していただきました。想定外の災害で「安心して落ち着いて過ごしていただけたか、もっと良い環境にできたのでは」と反芻しています。翌日は正月休暇中でしたが、出勤する職員を増やして能登方面からの緊急受診に備えましたが、少数の受診にとどまりました。幸い職員に外傷の被害者はいなかったのですが、親族、親戚、友人は大きな災害を被っています。また何人かの職員は実家に帰省して地震に会い、避難所に逃れ、そのまま避難所にとどまり医療人として活動しています。

この文は1月4日に書いていて、まだ災害の全体像は判明していませんが、これまで経験したことのない規模であることは間違いありません。

今年6月には松寺に移って30年になります。これまで「元気になるための病院」という理念のもと少なからず地域医療に貢献できたのかなと自負していましたが、今回の震災は過去の実績など迅速に行動しなければ帳消しになりそうな大災害です。遠く離れた金沢からどれだけのことができるか。なるべく多くの患者さんを受け入れることだけでなく、病院として、医療人として何ができるかを職員みんなで知恵を出し合って、行動していきます。

最後に「能登の皆さん頑張ってください。私たちも応援、支援しています。」

## 第10回学術発表会

### 第10回学術発表会が開催されました

新聞委員 柔道整復師 瀧口 慎太郎



令和5年9月2日、第10回学術発表会が開催されました。今回の発表会、私は座長を務めさせていただきました。発表者の皆さんの緊張感もそうですが、座長として座っている事で同様に緊張感を感じました。演題に関しても専門性の高いものや、病院の業務に関わることで、多岐にわたっておりました。発表の内容に関しても、発表当日を迎えるまでには長い期間取り組んで来られたのだなと感じました。今後も

良い研究を通じて病院での業務、リハビリ、看護の質を上げて行けるように私もども取り組んでいきたいと思えます。

また、今回の特別講演では金沢のバスケットボールチーム 金沢武士団の社長である中野秀光氏のお話を聞くことが出来ました。都市部を離れて田鶴浜に拠点を移し、地元の人を巻き込んで盛り上げていこうという取り組みに斬新さを感じ、今後の展望がより楽しみになりました。

次回の発表予定の方はすでに動いているようです。実のある発表を期待して次回を楽しみにしようと思えます。



### 学術発表会での発表を経験して

柔道整復師 杉本叶太郎

第10回となる木島病院学術研究発表会が開催され、私は初めて演者として発表させていただきました。「投球時の肩外旋制限を有する症例に対してのストレッチングの有用性」について研究しました。中学生の時に所属していたクラブチームにお願いするところから始まり、初めての経験が多くて分からないことも多く、沢山の先輩に助けられながら変更に変更を重ねて完成した演題で、人の繋がりをとても感じた発表になったと思えました。

当日は、早めに会場入りをしてリハーサルをして、本番に挑んだのですが、いざ演台に立つととても緊張したことを覚えています。質問に対しては得意の「テンパる」を発動してしまい上手く答えることが出来ませんでした。

最後にその度はとても貴重な体験をさせて頂き、沢山のアドバイスを下さった先輩方、発表を聞いて頂いた皆様、本当にありがとうございました。



## 令和6年能登半島地震

ソーシャルワーカー 平澤 憲一

令和6年能登半島地震から、この文章を書いている現在1月5日で4日が経ちました。この地震で亡くなられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

元日午後4時10分ごろ発生し、最大震度7を観測した能登半島地震。私は実家がある輪島市にいました。家族で過ごしていた正月の景色は一変しました。

地震の強い揺れは至る所で土砂崩れを引き起こし、住宅などあらゆるものを破壊しました。各地で道路は裂け、至る所が崩落しました。地震直後、私も自宅を離れすぐに避難しようとしたのですが、道路が寸断され避難所に到着したのは0時を過ぎていました。その避難所で2日間過ごしましたが、幸いにして家族全員、怪我もなく、金沢市に避難することができました。今後は地元の復興に向け、尽力してきたいと思います。

また被災者の救済と被災地の復興支援のために尽力されている方々に、深く敬意を表します。現在も余震が続き、予断を許さない状況が続いておりますが、被災地の皆様の安全と、一日も早い復興をお祈り申し上げます。



自宅の崩壊した玄関



柔道整復師 吉田 隆之

令和6年1月1日の午後4時10分、妻の実家の輪島に帰省で里山街道を走行中、穴水インターを過ぎたあたりの橋で、地震のアラームと共に激しい唸りのような揺れを感じた。

橋を渡り切ってから停車し、揺れが落ち着いた後、車から降りると目を疑うような光景が飛び込んできた。

前方500m先は大きな陥没、後方は多数のひび割れ…完全に孤立状態になってしまった。どうすることも出来ず、そのまま車で寒さをしのぎながら一夜を過ごした。

朝になり、周りの人たちと話し合った結果、中央分離帯のガードレールさえ外れればジグザグで穴水インターまで脱出できるんじゃないかと判断し、工具で必死にガードレールを外し、窮地から脱出できた。能登の悲惨な光景を見ながら、5時間かけて金沢に戻ってきた。車を置いて歩いていく事も考えたが、小学1年と6年の息子には厳しすぎると思い、最後まで望みは捨てなかった。

決して一人では出来なかった事で、互いに助け合い、励まし合う事の大切さを実感し、ニュースや映画などでしか見た事ない光景を目の当たりにし、改めて自然の脅威を感じた。

被災地の多くの方々に哀悼の意を表し、一刻も早く復興することを願います。



# 北國銀行ハニービー 目指せリーグ10連覇!!

理学療法士 太田 将貴



昨年はバスケットボールやバレーボールなどのワールドカップがあり、日本中は大いに盛り上がったのではないかと思います。そんな中で、女子ハンドボールでは、8月にオリンピック女子アジア予選があり、宿敵韓国との試合では25対24で惜しくも敗れ、この大会でのオリンピック出場権獲得はなりませんでしたが、アジア競技大会ではその韓国に29対19で勝利し、見事大会初の金メダルを獲得しました。

その後に行われた世界選手権では最終順位は32チーム中17位でしたが、強豪のドイツに1点差の惜敗、優勝候補のデンマークには1点差で見事勝利を納め、日本が世界に衝撃を与えた大会になりました。4月にはオリンピック最終予選が控えており、この勢いそのままオリンピックの切符を勝ちとって欲しいと思います。その日本代表の選手には地元の北國銀行ハニービーの選手

が多数在籍しています。北國銀行ハニービーは2014年から日本リーグを9年連続優勝しており、今年は10連覇を目指しています。昨年の10月から女子の日本ハンドボールリーグが開幕し、2024年1月現在、3戦3勝と好成績で経過しています。地元でのホームゲームもたくさんあるので、是非会場に足を運んでいただければと思いますし、来れない方もニュースや新聞等を見て注目していただければと思います。応援の程、宜しくお願いします！



## 秋の避難訓練

消防委員会 作業療法士 丸山 紘範

昨年の10月25日に秋の避難訓練を行いました。コロナ禍では簡略化して行っていた訓練ですが、現在は通常の訓練を実施出来るようになりました。万が一火災が発生した

時は全職員が混乱することなく行動できるように定期的な避難訓練を行っており、シューターと梯子を用いて各階から屋外へ脱出する方法を復習しました。病院等の大きな施設では防火扉などで隔てた防火区画が設けられています。シューターの場合は屋外で設置や受け止める人が必要である為、まずは屋外まで行かなくとも出火場所から離れた区画まで行くことも大切です。今回の令和6年能登半島地震では驚いて逃げた時に転倒や足を捻って骨折した方が多くいらっしゃいました。パニックにならずに冷静に行動する為にも、個人としても災害に対する準備や練習を日頃から心がけていきたいです。

また、今回被災された方には心よりお見舞い申し上げますと共に、協力して復興に取り組んでまいります。



# スポーツリハビリきじま

健康運動指導士 竹内 楓華



みなさんこんにちは。昨年5月から健康運動指導士として入社した竹内楓華です。石川県小松市出身です。中学校から大学までバレーボールをしていました。幼少期の頃はマット運動や、トランポリン、飛込競技を習っていました。

飛込では高さが10mまであり、10mから宙返りで飛び込むのがとても怖くて、水面に何度も打ち付けられた体はあざだらけで、泣きながら練習していた記憶があります。今となれば貴重な体験を

することができたと思います。色々なスポーツを通して、体を動かすことの大切さ、楽しさを皆さんに伝えていきたいと思っています。



入社して5カ月が経ちましたが、まだまだ日々勉強中です。スポーツリハビリきじまは、利用者様と職員の距離がとても近く、運動しやすい雰囲気だと感じています。これから運動指導に直接携わり、健康づくりのサポートをしていきたいと思っています。ご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願いします。



## 介護センターだより

### 干支のガラスアートづくり

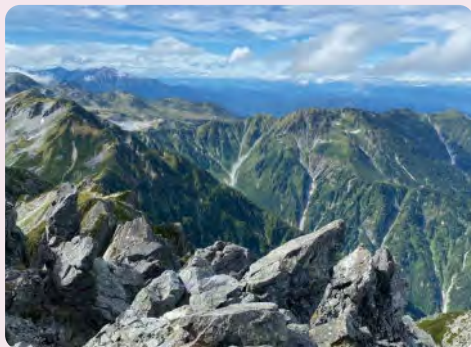
介護福祉士 山田 貴子



きじま在宅介護センターでは、毎年干支のガラスアートの置物作りを行っています。ガラスアートを初めてから今年で10回目になります。今回は半数の利用者の方が参加されました。シートの上から銅線を抑えながら貼っていきます。力のいる作業ですが、職員がお手伝いをしながら作業していきました。同じ辰でも皆さん違い「面白いね。」「孫にあげるわ」等お話されていました。今後十二支を目指して皆さんに楽しんでいただける様なレクリエーションをしていきたいと思っています。

# 職員リレー紹介

▶▶▶ 理学療法士 村澤 卓朗 さん



はじめまして理学療法士の村澤と申します。入社して9年になりますが、初めてこの職員リレーが回ってきて嬉しい限りです。職員リレーではよく趣味の話がされているので、私も趣味について話をしたいと思います。いくつか趣味があるのですが、プロ野球を見ること(西武ライオンズのファンです)、音楽を聴くこと(最近カネコアヤノが好きです)などまだまだあるのですが、最近特に山登りに夢中になっています。

数年前から始めた山登りですが、今までで一番思い出に残っている山は去年登った劔岳です。劔岳は標高 2999mの日本で屈指の過酷な山と言われており、距離が長いことに加え、断崖絶壁の岩場を歩いていく必要があります。登頂したまではよかったのですが下山が長すぎて体力が限界の中、歩いていたら幻覚を見たのは一生忘れることはないと思います。つらいことが多い山登りですが、登頂したとき下山したときの気持ちは何にも代え難いものがあるので、ぜひみなさんも山登りに挑戦してみてください！



## 4年ぶりの地域交流会開催

地域交流委員会 柔道整復師 星名 健

令和5年11月4日の土曜日に第38回地域交流会が開催されました。コロナの影響でしばらく休止しており、今回4年ぶりの開催となりました。久しぶりの開催にも関わらず、以前と変わらないくらい大勢の方が来て下さりとても嬉しく思います。

今回の地域交流会では久門先生による講演『40代からの股関節痛』と、金沢市立浅野川中学校の吹奏楽部による音楽コンサートの2演目が行われました。講演では40代前後の方のみならず、子どもから高齢者にかけて各世代でそれぞれ起こり得る股関節の疾患についてお話して頂きました。



音楽コンサートでは相変わらずの素晴らしい演奏をお聞きできとても癒されました。今回特に印象に残ったものとしては、各楽器の紹介を兼ねてのソロパートがありました。今まで何度かお呼びした中でも初めてで、それぞれの楽器の魅力を知ることができました。

今回4年ぶりの開催でしたが、改めて地域交流会の良さを再認識できました。今後も毎年開催予定ですので、もしお時間があればご来場して頂ければ幸いです。



### 編集後記

元旦から襲った能登半島地震に被災した我々も、一丸となって復興を目指してまいりましょう。本年も様々な出来事を伝えるために新聞委員は頑張っています。

木島病院新聞委員一同

木島病院

TEL (076) 237-9200  
FAX (076) 237-9202

きじま在宅介護センター

TEL (076) 237-7111  
FAX (076) 237-1199

健康増進施設  
スポーツリハビリ きじま

TEL (076) 237-9200  
FAX (076) 237-9202

〒920-0011 金沢市松寺町子41番地1

病院ホームページアドレス <http://www.kijima-hp.or.jp/>